

岡部光明ゼミナール 2011年度春学期

# 研究論文概要集



明治学院大学 国際学部

## 岡部光明ゼミナール 2011年度春学期

### 研究論文「概要」集について

この冊子は、明治学院大学国際学部における岡部光明ゼミナール所属学生の2011年度春学期タームペーパーの概要（目次および主要図表を含む）を印刷したものです。岡部ゼミでは、従来から履修生の研究成果をこのようなかたちで刊行しており、本冊子はそのシリーズ第7号になります。これらのタームペーパーは研究成果発表会（2011年7月23日-24日、湘南国際村で実施）において報告され、そこでの議論を踏まえて改訂されたものです。

この冊子を刊行する目的は、主として個々の学生が手がけた研究の内容を残すことにありますが、研究テーマを全体としてみるとその時々国内外の社会経済情勢を反映しています。今学期の研究テーマをみると、デフレやコーポレート・ガバナンスなど従来から重要なものが引き続き学生の関心を集めているほか、欧州経済危機、食糧危機、通貨危機など各種「危機」を扱ったものが比較的多く、また貧困、生活保護、非正規雇用、ホームレス、ワーキングプアなど日本社会の底辺の問題を取り上げたものも少なくありませんでした。まさに日本の現状を反映しています。

秋学期には、今学期の成果を踏み台にしてさらに飛躍してほしい。とくに4年生は、今学期までのタームペーパーの内容を上手に統合するないし発展させるとともに、秋学期に新たな研究を付け加えるかたちで立派な卒業論文を完成してください。

2011年7月

明治学院大学 国際学部教授

岡部 光明

<http://www.okabem.com>

# 岡部光明ゼミ 研究報告会

—2011年7月23日-24日、於 神奈川県 湘南国際村—



## 目次

### 演習3（4年生）

- ・ アジア通貨危機の原因と展開及び教訓（石川大起）…………… 6
- ・ 近年における欧州経済危機：債務危機および財政危機から読み解く（石川 恵） …… 8
- ・ 労働時間の弾力化と生産性：ドイツの例と日本の課題（上原 彩）…………… 10
- ・ 「国際語」としての「日本語」：日本語教育のあり方（小川紀行）…………… 12
- ・ 日本のデフレ：1990年代後半から2010年にかけて（金子剛久）…………… 14
- ・ 世界における水問題（菊池貴彬）…………… 16
- ・ デフレ不況下におけるアパレル業界の現状と今後の課題（菊地亮佑）…………… 18
- ・ 日本における貧困母子家庭の現状と生活保護制度（郡司義貴）…………… 20
- ・ 世界の食糧危機と日本の食糧自給率（島野多佳子）…………… 22
- ・ 日本型コーポレート・ガバナンスとその特徴（武藤弘祥）…………… 24

### 演習1（2年生）

- ・ 日本の貧困について：ホームレスを中心に（岡本拓也）……………26
- ・ 日本における非正規雇用者増大について：その原因、問題点、対応策（里村 瞬） ……28
- ・ 日本におけるソーシャル・ビジネスの可能性と課題：海外の施策から学ぶ（手島悠涼） 30
- ・ ワーキングプアの原因及び問題点と対策（百井勇人）…………… 32